

三ツ目囃子振興会

ひまつりたきぎばやし

火祭薪囃子

目前に繰り広げられる

幽玄の世界

夕闇が迫る頃、それは始まった。場所は町田市小山町にある三ツ目山(山王山)日枝神社境内。既に大勢の見物客で溢れている。

(獅子)を起こします。目醒めた雌雄の獅子が載れていると、神人が現れ、その二頭の獅子を従え、地下にいる悪霊が、人々に災いを齎さぬよう呪文を唱えながら大地を踏み悪霊を鎮めます。手にした

霊の方向に神矢を放ち鎮めます。やがて宇津・権九郎二頭の獅子が、災いを齎す悪霊が退散した喜びと、今日開演出来た喜びを舞います。」

「全国的にも珍しい『火祭薪囃子』も今回で九回目を迎え、三ツ目山の大自然の中で無事開催することができました。

『三ツ目囃子』は私たちの祖先が育んできた誇るべき技芸文化財であり、数々の賞に輝いてきた貴重な舞台芸術でもあります。今回は「とりあげ舞」を新たに演出し研鑽を重ねて参りました。伝統的な技を正確に守り伝えながらも、新たに創意工夫を凝らし、皆様喜んでいただけるよう祭囃子を演出して参ります。今後三ツ目囃子振興会が「丸」となり、また神と人が一体となり、世界の平和を祈り、舞い続けたいと存じます。」と会長の中島さんは語ってくれた。

三ツ目囃子(町田市指定無形民俗文化財)

三ツ目山山王山日枝神社の祭礼はもとより、近郊の神社祭礼にはなくてはならない囃子として、幕末より受け継がれている。火祭薪囃子は、平成1年から隔年で実施されており、第9回目となる今回は10月4日に開催された。

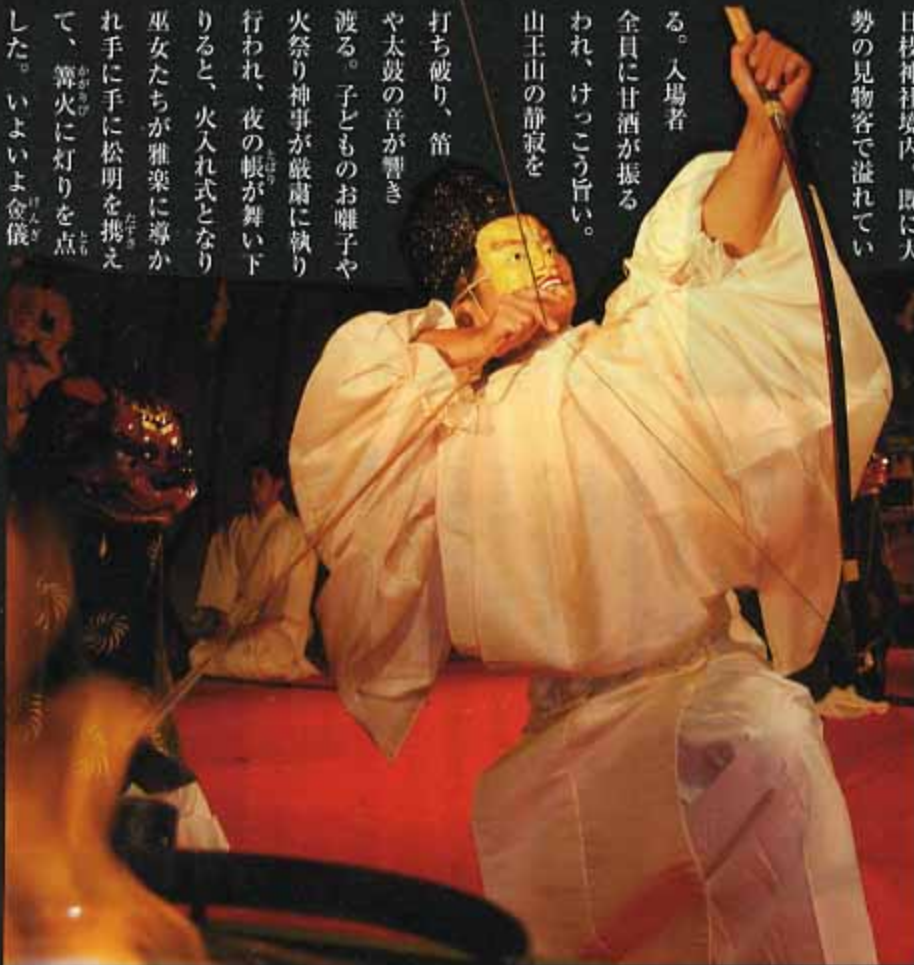
三ツ目囃子振興会

TEL 042-772-6448(中島)

町田市制五十周年記念協賛

打ち破り、笛や太鼓の音が響き渡る。子どものお囃子や火祭り神事が厳肅に執り行われ、夜の帳が舞い下りると、火入れ式となり巫女たちが雅楽に導かれ手に手に松明を携えて、篝火に灯りを点した。いよいよ金儀が始まった。皓々と照らし出される舞台に、幽玄の世界が出現した。

「権九郎(獅子)は眠りから醒め、宇津



鈴を振って田畑に種を蒔き、五穀豊穡を祈ります。弓を取り四方を清め、天にいる悪霊も、地上に災いを起こさぬよう悪

